



※※子宮頸がんワクチン※※

子宮頸がんは20～30代の若者に多くみられ、日本では年間約1万人が罹患し、約3,000人が死亡しています。治療により命が助かって、手術の影響で妊娠できなくなったり、排尿障害や下肢のリンパ浮腫など後遺症が残ったりすることもあります。

原因の多くは、ヒトパピローマウイルス（HPV）です。HPVは、性交渉により女性の約80%が生涯に一度は感染するごくありふれたウイルスです。感染しても多くは自然に排除されますが、感染した状態が続いたり、繰り返し感染したりすることで前がん病変になり、さらにその一部ががんになります。

子宮頸がんワクチンは、HPV感染を防ぐワクチンです。ワクチンの接種により子宮頸がんの70%以上は予防されるという研究結果が出ています。日本を除く先進諸国ではワクチンの接種率増加に伴い、前がん病変や子宮頸がんの発生率が大きく減少しています。初めての性交渉を経験する前にワクチンを接種すると予防効果が高くなります。

★令和4年4月から、子宮頸がんワクチンの積極的勧奨が再開されました。現在定期接種の12歳～16歳に加え、17歳～25歳（平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれ）の方もキャッチアップ接種として無料で接種できます。（キャッチアップ接種が受けられる期間は、令和4年4月から令和7年3月までの3年間です。）

当院では4価ワクチンを使用しており、期間をあけて3回接種をします。WEBからの予約も可能です。子宮頸がんワクチンや副反応について詳しく知りたい方は、お気軽にご相談ください。

HPV ワクチンやキャッチアップ接種の情報については下記もご参照ください

- <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000901220.pdf>
- <https://minpapi.jp/wp-content/uploads/2020/12/小児科と外来小児科最終完成版.pdf>
- https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_catch-up-vaccination.html



生協こどもクリニック

